

《6月議会一般質問》

1. 「熊本地震」災害から学ぶこと
2. 緊急通報システム事業について
3. 樋島漁協損失補償問題について



市が支払った『樋島漁協損失補償金』3,848万2,300円のうち 回収額は5年間で193万2665円 弁済契約金は1,000万円のうち380万円納付

漁協組合長が
支払いを
約束した

前市長が「市民にはいっさい迷惑をかけない」と言った約束守られるのか！

《緊急通報システム事業について》

上天草市の一人暮らしの高齢者は、全世帯の14.2%1560人（平成22年度）、高齢化率は35.6%（平成27年度）です。

市民から「緊急通報システムが、申請してもなかなか設置してもらえない。もう2年以上待っている」と言う声を聞きました。こんなことでは、市長が公約した「安心・安全な暮らしを実現する」とはなっていないのではないのか。



(問)『緊急通報システム』の設置状況など現状はどうなっているのか？

(答)5月末で利用者数は654名、待機者数は94名です。待機者の待ち期間は最長で2年半～3年です。

今年度当初予算で30台分の購入費、再利用の設置手数料50台分を確保しています。7月初旬から設置していき、なるべく今年度中の対応をさせていただきます。

市長(答)スムーズな撤去も含めて、効率のいい設置の仕方を考えていきたい。

《熊本地震災害から学ぶこと》

(問)上天草市にも多くの橋が存在するが、熊本地震で崩壊した阿蘇大橋のようなことが天草で起きた場合の対策は考えているのか？

(答)防災計画の中では細かなところまで規定されていない。今後検討していく必要がある。



(問)いざ災害が起きたとき、船舶業者との提携はしていないのか？

(答)災害時の協定については、いろんな機関と締結しているが、運用については進んでいない。

災害はいつ起こるか想定もつかない。いつ起きても対応できるように細かなところまで対策を取っておくべきではないのか。



宮下しょう子の ひまわり新聞

平成28年10月
～第71号～

日本共産党上天草市委員会
上天草市大矢野町中 4435-9
Tel0964-57-0408 Fax0964-57-0410

宮下しょう子自宅
上天草市姫戸町姫浦 2381
Tel・Fax0969-58-2901 携帯 090-5283-3100

《樋島漁協損失補償問題について》

市は、平成23年に樋島漁協損失補償金3848万2300円を熊本県漁業信用基金協会へ支払った。当時の市長は「市民にはいっさい迷惑はかけない。全て回収できるよう責任を持ってやり遂げる。」とされており、5年が経過する現在の回収状況を聞いた。

(問) 損失補償分と樋島漁協組合長が道義的責任として、個人で1,000万円支払うと約束した分の回収状況は？

(答) 損失補償分の2人のうち、一人は完済もう一人分の残債額が3,654万9,635円。

弁済契約金は、平成25年まで360万円、平成26年～27年分として20万円の納付となっており、残高は620万円です。

(問) 債務者による返済がこの1年間に行われていないが、担当課の対応は？

(答) 年1回内容証明郵便で請求書を送付後、直接面談をして納付のお願いをしています。しかし、債務者の方々は、支払いが困難な状況です。

(問) 弁済契約金も支払いの約束(毎年120万円)は守られていないが、市の対応は？

(答) 電話や面談、郵便による再交付書の送付をしています。支払いの意思も確認しています。

(問) 市営住宅の耐震化と工事はどうなっているのか。

(答) 下貫団地1号棟については診断を実施し、耐震を満たしている。そのほか現在283戸が入居しているが、ほとんど診断が行なわれておらず、今後診断を行なって安全性を確認していく。

(問) 指定緊急避難場所の耐震化工事についての計画はどうなっているのか？

(問)『弁済契約書』では、「支払いを約束した分を1回でも怠ったときは、残債及びこれに対する期限の利益を損失した日の翌日から、年5%の割合により遅延損害金を支払わなければならない。」とあるが。

(答) 当然遅延損害金は発生しますが、まだ元金の支払いが滞っておりますので、まだそこまでのお話はさせて頂いておりません。

ただ、連帯保証人の方にもお支払いいただくようにお願いはしております。

(問) 前市長が責任を持ってやり遂げると述べられている。回収が進まない現状を堀江市長はどう思われるのか？

(市長答) 税金を投入しているのは事実でございますし、迷惑をかけないとは、さすがに私も言い切れなと思います。支払い能力が極めて低いばかりで、仮に回収になったとしても相当な時間がかかるし、今の段階で全額の税金を投入することなく解決することとはきわめて難しいと思っています。

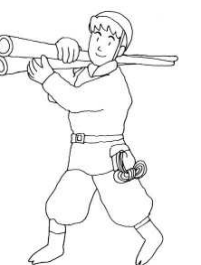


『弁済契約金』については、契約書どおりに履行されていないのはなぜか？

市民からは「我々が税金を滞納すると、延滞利息も取られるのに、市の対応はおかしい。優遇しているのではないか」との声もある。

(答) 全てを耐震化するには、相当な費用も発生する。最低限やっていかなければならないが、全ての施設の耐震化は難しい。

公共施設の耐震化工事については、地元業者の仕事起しにもつながる。計画性をもって少しずつでも実施すべきだ。



《9月議会一般質問》

1. ゴミ問題について
2. 五橋祭イベントについて
3. 子どもの貧困問題について

上天草市のリサイクル率は10.21%… 県内45自治体の中で41番目！

もっと可燃ごみを減らすためには、自らの意識も変えましょう！

機器を使って

焼却ゴミの減量を！

市が取り組む対策は、下表3のとおりで、(他にマイバッグ運動)普及状況は、市内のごく一部(答弁より)となっています。

電動式は、購入額が高額なため、誰でも設置するのは難しく、コンポストは、虫やにおいが発生するなど問題があります。

そこで、市は昨年から『キエーロ』の普及に取り組んでいます。設置はベランダでも置けるようになっており、コストも低額で設置できます。

しかし、市民の中に浸透していない状況で、設置台数も10台となっています。1軒に1台設置すれば、焼却ゴミは相当減少します。ぜひ、設置を！



※キエーロの利点

- ①生ゴミを入れるのが簡単
- ②虫が発生しない
- ③分解もスムーズに進む

機器を遣ったゴミ処理はひとつの手段ですが、ゴミ問題の解決のためには……もっとリサイクルを進めましょう！

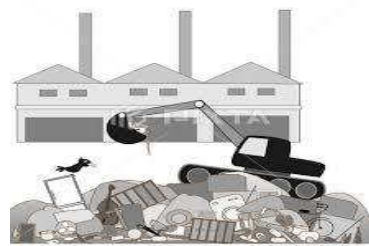
「出たゴミをどう処理するのかではなく、いかにゴミを出さないか」

(表3)

	補助額	補助件数
電動式ゴミ処理機	購入額の2分の1/上限3万円	200
コンポスト	"/上限1万円	7
キエーロ(H27年度~)	"/	10

ゴミ関連の
《問い合わせ先》
市生活環境課
0964-26-5524

有明に建設予定だった『新ごみ処理場』が、建設断念となり現処理場を使い続けなければなりません。ごみ処理場の耐用年数は15年ですが、現在稼働している松島ごみ処理場は、平成8年建設で20年が経過しています。処理能力も70~80%と低下しています。毎年、修理費もかさんでいます。だからこそ可燃ゴミを減らして、処理場を長く使えるようにしなければなりません。ごみ減量は税金の投入を減らすことにもなるのです。



(表2)

	平成16年	平成20年	平成25年	平成26年
年間総排出量	9,256t	8,794t	8,620t	8,562t
一人一日当たりの排出量	713g	726g	795g	797g
リサイクル率	13.90%	10.40%	10.38%	10.21%
一人当たりの処理経費	15,568円	15,850円	—	—

新ごみ処理場建設が白紙に……影響は？

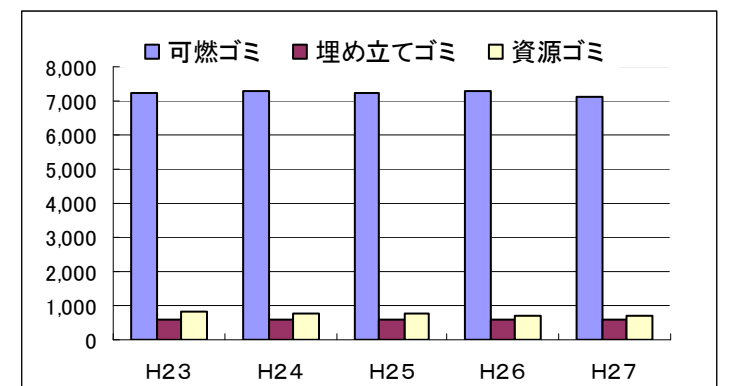
これまででも取り入れるよう何度も提案しているのですが、検討する」との答弁のみで進んでいません。もっと危機感を持って欲しい。ごみ減量対策での先進地では、さまざまな対策をとって成功しています。水俣市や上天草市では『アサイクル推進事業補助金』があります。上天草市でも、資源ゴミ回収が地区ごとにおこなわれていますが、地区や学校などへ回収量によって補助金を出すといいものです。また、『アサイクル推進委員』も設置して、ごみ減量に成功しています。ごみ減量化のためには、先進地に学び良い事は取り入れるなど、もっと力を入れるべきです。



もっとリサイクル推進を！

上天草市の人口は、合併当初の3万5千人から2万9千人と約6千人ほど減少しています。資源ゴミ回収も取り組まれるようになり、当然ゴミの排出量は減っていないけれどもは減りません。しかし、下表のとおり、可燃ゴミはなかなか減らず、リサイクルも一向に進んでいません。

(表1)



ゴミ問題は、私たちが生活していくうえで、誰もが関わりのある身近な問題です。今年は、冬の大雪から始まり、梅雨時期の長雨、夏の異常な暑さなどは地球温暖化の影響も考えられます。自ら出したゴミによって、自らの安全、健康、命、環境、地球の未来が脅かされることは避けなければなりません。そのためにも、ゴミ問題の解決は大事な問題です。

なぜ、可燃ごみは減らないのか！

行政も市民も、もっとゴミ問題に意識を！